

[004]史淵表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2344442>

出版情報 : 史淵. 4, 1932-07-15. Faculty of Law and Letters of the Kyushu Imperial University
バージョン :
権利関係 :

彙報

九大史學會昭和六年第二回例會

昭和六年十一月廿二日(日曜)午後一時より九大第二學生集會所樓上に於て開催。長沼教授開會の辭を述べられ續いて左記の如き講演に移つた。

一、近世史學史上に於ける新井白井の地位 竹岡 教授

一、近世に於ける史學の勃興 二、白石研究の必要 三、白石の歴史觀及び歴史家としてのその業績 四、近世史學史上に於ける白石の地位 五、近世史學勃興の思想史的意義

等に關し、約一時間に亘つて述べられる處あつた。詳細は追つて本誌に發表される筈であるが故にこれを省略する。

一、歴史哲學の根本問題 鹿子木教授

一、經驗内容に於ける人間の命の出來事(有り難きものゝ實現) 二、歴史の世界と史觀 三、歴史の世界構成の源泉としての精神其分折(八つのこゝろざし) 四、歴史の構成とその要素、五、日、歴史の諸階段

等に涉つて、約一時間明快に詳論細述され、歴史の源泉は心なるが故に其の本質を掴むには、この心に立脚しなければならぬと結ばれた。

兩教授とも御多用中に拘らず本會の爲に快く演講を御賜つたことに對し、長沼教授より感謝の辭を述べられ、休憩暫時、晚餐に移り、左記の順に研究發表若しくは自稱漫談があつて八時頃散會。

一、風土記抄に云紫草と曾根海岸の武良

一、雲崗の石窟に就いて

一、支那の火宅僧に就いて

一、博多津要録に就いて

古川義輔氏

竹岡勝也氏

重松俊章氏

伊奈健次氏

受贈雜誌(昭和七年一月以降)

龍谷史壇(九)

史苑(七ノ二三)

史潮(二ノ一)

國史學(一〇二一)

上代文化(七)

青丘學叢(六)

東洋文化(九二二)

九大國文學(三)

筑紫史談(五四、五五)

元寇史實の梗概

龍谷大學史學研究室

立教大學史學會

大塚史學會

國學院大學國史學會

國學院大學上代文化研究會

青丘學會

東洋文化學會

九大國文學研究會

筑紫史談會

武谷水城

昭和七年度第一學期 九州帝國大學法文學部 史學關係講義題目

國史

特講、室町時代世相(一)時間

長沼教授

國史演習

同 竹岡教授

近世日本思想史

同 竹岡教授

演習、世阿彌

同 竹岡教授

西洋史

中古史講義

長教教授

特講、宗教改革及反動時代

大村助教

西洋史講義

同 大村助教

H. See: — Science et philosophie d. l'histoire

同 大村助教

西洋史演習

同 大村助教

G. von Below: — Deutsche Geschichtsschreibung. Tenbners Quellenammlung. (Ranke)

同 大村助教

東洋史

宋元時代史

重松教授

演習、二十二史劄記研究(一)

同 重松教授

其他

中世哲學史

鹿子木教授

西洋近世哲學史 (一)

中島教授

印度哲學史概論 (四)

千湯教授

印度藝術に表はれたる佛陀觀の開展(一)

同 楠本教授

周易講義 (四)

同 佐野教授

キリスト教の起源 (四)

同 松濤教授

教育史概説 (四)

同 吉町講師

言語學概論 (一)

同 春日教授

國語學概論 (一)

同 小島助教

萬葉集講讀 (一)

同 山内講師

近世の小説(國文學講義)(二)

同 中山助教

章炳麟の學說 (四)

同 成瀬教授

英語史概説 (一)

同 須川助教

佛文學史概説(十八世紀)(六)

同 金田助教

十七世紀佛文學史 (一)

同 西山教授

佛文學史概説 (一)

同 西山教授

日本法制史 (四)

同 西山教授

外交史 (一)

同 西山教授

昭和七年度 九州帝國大學法文學部 史學科卒業論文題目

國史學專攻

藤原時代に於ける淨土信仰

青木義憲

西都條坊考

鏡山猛

芭蕉と老莊思想

佐藤忠男

古事記序文の一研究

都築頼助

諸蕃姓氏考

日本古代九州文化東遷論

西洋史學專攻

サモア事件以後に於ける亞米利加合衆國の帝國主義的發展

愛蘭に於けるシンフエン黨の興隆前史

東洋史學專攻

春秋盟誓考

章學誠の史學に就いて

史記貨殖傳に現れたる漢代會社の一考察

山本嘉藏
山本博

太田等
清水知人

井上健三
井邊房夫

山本重八

國史例會

第十三回例會 (昭和六年十二月十二日)

一、熱田神宮寛平緣起

一、土屋文書と二見文書との比較

第十四回例會 (昭和七年一月三十日)

一、元亨釋書研究

一、金光明四天王護國の寺に就いて

第十五回例會

此の日は特に卒業論文感想發表會と名付けて、本年度卒業の青木、鏡山、都築、山本嘉、山本博の諸君から感想又は論文の梗概を話された。題目に就いては「昭和七年度史學科卒業論文題目」を御参照あり度い。尚ほ本年度卒業生送別會は二月十日午后六時から長沼、竹岡兩先生の御出席を仰いで新三浦で開催

榑原末一君

足立浩君

伊藤弘君
西島寛君

した。

第十六回例會 (昭和七年五月四日)

今回は新入生歡迎會として開く。自己紹介の後、左記の發表があり、晚餐を共にして、六時頃散會。

一、日野有範の系圖に就いて

波多信道君
(足立、西島、山本)

國史學生讀書會

本年度は、第三、二學年は合併で愚管抄、第一學年は古語拾遺と決定、既に數回開催したが、この方は回数が多いから開催の日時會の模様等の記事は割愛する(山本)

西洋史研究會

昭和六年九月廿三日研究會

歐洲大戰勃發の主因に就いて

北平回教に就いて

英國自由黨考

昭和六年十月一日研究會

H. Höhne: J. Chamberlain u. d. gross. Politik b. z.

Eröffng. d. dtisch-engl. Bundnis-sprech ngen

(Vierteljahrsschrift für Politik u. Geschichte.

1929 Heft 1.) の紹介

Liman von Sanders: Five years in Turkey の紹介

小林榮三郎
湯池惟定

大村助教

益田健次

長教授

Dr. C. Munro : War and History American Historical

Review, vol. 32, 1927, 1. No.2) の紹介

上野 幸一 郎

昭和六年十一月研究會

F. Halévy : A History of the English People 1830—

1841 の紹介

岡野 平 吉

昭和七年一月廿一日研究會

Barle : Turkey, The great powers and the Bagdad

Railway の紹介

湯池 惟 定

Benedetto Croce : A Hist. of Italy 1871—1915

(E. H. R. No. CLXXVII Jan. 1930)

の紹介

清水 知 人

Sir John Walsh : The practical results of the Reform

Act of 1832 の紹介

岡野 平 吉

昭和七年二月四日研究會

Pharos : Der Prozess gegen die Attentäter von Sarajevo

1918 の紹介

大村 助 教授

卒業論文發表 (愛蘭に於ける Sinn Fein 黨興隆前史)

清水 知 人

昭和七年二月十八日研究會

René Goblet : Souvenir de ma vie politique の紹介

長 教 授

英露協商に於ける A. C. Spring-Rice

大村 助 教授

Jean Rivero, L'idée laïque et la réforme sociale (1879—

1882) (Revue politique et parlementaire 10 sept. 1931) の紹介
讚 井 鐵 男

卒業論文發表 (Ghana 事件以後に於ける亞米利加合衆國の帝國主義的發展)

太 田 等

Briefe aus Paris, geschrieben während in grossen

Volkswohle im Juli 1830 の紹介

須 藤 章

Erkert, Die "Heidelberger Tradition" in der deutschen

Philosophie.

小林 榮三郎

西洋史研究會記錄第四號昭和六年十月發行

Neo-classicisme と二州問題

長 教 授

世界大戰の勃發に於ける露國動員の問題(一) 大村 助 教授

佛蘭西十八世紀哲學と基督教の否定

益 田 健 次

埃國內獨乙族の失勢原因論說

小 林 榮 三 郎

(同右記錄第五號は近々印刷配布の豫定) (益田)

九大支那學研究會

昭和七年十一月初旬 午后三時第二演習室にて例會開催。出席者重松、楠本兩教授山内講師及び專攻の學士、學生等十數名。

一、朱子の思想に現れたる所爲然とに就いて、

楠 本 教 授

一、元曲研究上の材料紹介、

遠 藤 副 手

一、支那史料目錄に就いて、

井 邊 房 夫

昭和七年五月廿一日 (土曜日) 午后四時、學生集會所第三號

室にて懇親會開催。出席者重松、楠本兩教授、山内講師、その

他專攻の學士、學生等都合十一名。簡單ながら茶菓晚餐を攝り

つゝ歌談の裡に一夕を過し九時半散會。

松田講師の來講

東京文理科大學講師、大正大學教授松田壽男先生は遠路遙々御出張あり昭和七年一月十八日より二月八日まで廿日間、熱心に得意の西域史（唐の中葉（玄宗まで））を講ぜられた、（森住）

九大史學會規則

第一條 本會ハ九大史學會ト稱ス

第二條 本會ハ史學ヲ研究スルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ史學ニ篤志ナルモノヲ以テ會員トス

會員ハ贊助會員及ビ通常會員トス

第四條 本會ノ事務左ノ如シ

一、例會 大會

二、會報ノ發行

三、史學研究ニ必要ナル事業

第五條、本會ニ委員若干名ヲ置キ委員會ヲ組織ス

委員ノ任期ハ一ケ年トス

第六條、次期委員ハ毎年改選期ニ現在委員ノ投票ニ依リテ之

ヲ決ス

第七條、委員會ハ本會ノ事務ヲ議決ス

第八條、本會ニ庶務係、會計係若干名ヲ置キ委員會ノ決議ニ

ヨリ本會ノ事務ヲ分掌ス 庶務係及會計係は委員中

ヨリ之ヲ互選ス

第九條、贊助會員ハ特ニ本會ノ事務ヲ助クルモノトス

第十條、本會ニ入會セントスルモノハ本會々員ノ紹介ヲ要ス

贊助會員ハ委員會之ヲ推薦ス

第十一條 會員ハ住所變更ノ度之ヲ本會事務所ニ通知ス可シ

退會セントスルモノ又同シ

第十二條 會員ハ會費トシテ年額一圓ヲ齎出スルモノトス

第十三條 會費滞納ノモノ又ハ本會委員會ニ於テ不都合ト認メ

タル者ハ除名スルコトアルハシ

第十四條 本會ノ事務所ヲ九州帝國大學法文學部史學研究室内

ニ置ク

第十五條 本規則ノ變更ハ委員會ノ決議ニヨル

以上

本年度委員

長壽吉、重松俊章、長沼賢海、竹岡勝也、大村作次郎、國行
一男、益田健次、山本健二、鏡山猛、森住利直、伊藤弘、中
川勇、讚井鐵夫、須藤章、本間醇。